

# 旅行人気 回復の兆し

## ゆこゆこ「2015年 シニア層の国内旅行動向調査」

### 国内旅行の回数 (全体/実数回答)

年次	調査数	回数						平均回数(回)	
		1回	2回	3回	4回	5回	6回以上		
2011年	(n=842)	41.4%		26.5	15.4	5.2	5.5	5.9	2.44
2012年	(n=856)	34.2		30.1	14.7	7.2	5.0	8.6	2.65
2013年	(n=874)	30.7		27.3	19.1	7.6	5.4	10.0	2.86
2014年	(n=847)	37.5		25.9	17.8	7.0	4.3	7.6	2.54
2015年	(n=877)	30.8		28.3	18.2	7.5	5.6	9.6	2.78
男性50代	(n=217)	33.6		27.2	22.6	5.5	3.7	7.4	2.62
男性60代	(n=212)	33.5		30.2	14.2	7.5	3.8	10.8	2.77
女性50代	(n=226)	28.3		29.2	17.7	8.8	8.4	7.5	2.73
女性60代	(n=222)	27.9		26.6	18.5	8.1	6.3	12.6	2.97

### 国内旅行の総宿泊数 (全体/実数回答)

年次	調査数	宿泊数							平均宿泊数(泊)	
		1泊	2泊	3泊	4泊	5泊	6~10泊	11泊以上		
2011年	(n=842)	28.1%		25.9	11.6	9.5	6.8	13.4	4.6	3.61
2012年	(n=856)	23.4		20.1	15.5	10.9	7.1	15.8	7.2	4.25
2013年	(n=874)	21.2		19.3	16.2	10.3	7.8	17.4	7.7	4.47
2014年	(n=847)	24.3		24.6	14.9	10.6	7.1	13.3	4.6	3.72
2015年	(n=877)	18.9		22.5	15.5	11.1	7.1	17.4	7.5	4.39
男性50代	(n=217)	20.3		24.9	13.0	12.4	6.0	11.5	6.9	3.92
男性60代	(n=212)	20.8		23.1	14.2	11.8	4.7	15.6	9.9	4.58
女性50代	(n=226)	17.7		22.6	14.6	13.3	8.8	17.7	5.3	4.13
女性60代	(n=222)	17.1		19.4	15.3	6.8	8.6	24.8	8.1	4.94

シニア向け宿泊予約サービスを提供するゆこゆこ(東京都中央区)はこのほど、50~60代男女を対象とした2015年の国内旅行動向調査の結果を公表した。同社は、2010年から同内容の調査(パネル調査)を実施し、シニア層の国内旅行動向の経年変化を追ってきた。昨年の調査は12月2日~同17日、日本能率協会総合研究所の調査パネル(50~60代男女)を対象にファクスで行い、877人から有効回答を得た。回答者一人に対し、直近(この1年間)2014年12月~15年11月の旅行回数最大3回まで、繰り返し質問しているため、2015年の総宿泊数は1843。二泊あたりの宿泊費調査では、自分で手配していない人を除外しているため、同年の回答数は1225。

調査データ

# 回数、日数だけでなく費用も増

### 直近3回での旅行状況・宿泊施設 (延べ回答全体/単一回答)

年次	調査数	施設												無回答
		旅館	リゾートホテル	シティホテル	ビジネスホテル	公共の宿	リゾートマンション	民宿	会員制リゾートホテル	ペンション	会社などの契約保養所	貸別荘・コンドミニアム	その他	
2011年	1602	26.3	24.1	19.7	11.5	4.8	0.4	2.7	2.2	1.8	1.2	0.4	3.9	1.1
2012年	1724	23.3	24.0	20.5	15.5	4.8	0.5	2.3	1.3	1.2	0.2	0.2	3.7	1.3
2013年	1844	24.7	20.8	19.4	16.8	3.8	0.4	2.1	1.6	1.6	0.5	0.5	3.9	1.5
2014年	1676	23.6	21.8	19.5	16.1	4.8	0.7	2.2	1.3	1.3	0.4	0.4	3.6	2.9
2015年	1843	21.6	20.9	20.2	17.3	5.3	2.1	2.0	1.8	2.3	1.1	0.9	3.7	0.9
【2015年(50~60代)】														
性・年代別		446	18.2	17.9	16.6	24.2	5.4	1.6	1.8	2.2	1.3	1.1	6.3	0.7
男性50代		430	25.1	20.9	20.2	11.6	5.8	2.8	2.1	2.1	0.7	1.6	3.7	1.2
男性60代		484	19.0	21.5	23.1	20.9	3.3	1.9	0.8	1.7	1.0	0.4	2.9	0.6
女性50代		483	24.2	23.0	20.7	12.2	6.8	2.5	1.7	1.9	1.2	0.4	2.1	1.0

### 直近3回での旅行状況・一泊あたりの宿泊費 (延べ回答・自分で手配/実数回答)

年次	調査数	宿泊費					平均宿泊費(円)		
		8000円未満	8000円~12000円未満	12000円~16000円未満	16000円~20000円未満	20000円以上			
2011年	(n=1060)	29.5%		33.7	20.6	6.1	9.2	0.8	11218
2012年	(n=1216)	32.6		30.4	20.0	5.5	11.2	0.2	11342
2013年	(n=1233)	31.3		29.4	23.4	6.4	9.2	0.4	11509
2014年	(n=1118)	29.2		30.6	21.8	6.6	11.8	—	11935
2015年	(n=1225)	27.9		31.3	22.4	5.8	12.7	—	12081
男性50代	(n= 337)	34.4		30.3	19.5	5.6	10.1	—	11217
男性60代	(n= 277)	23.5		30.3	27.4	6.9	11.9	—	12224
女性50代	(n= 307)	28.7		34.5	22.1	5.2	9.4	—	11185
女性60代	(n= 304)	24.0		29.9	21.1	5.6	19.4	—	13812

### 旅行の目的 (全体/複数回答)

年次	調査数	目的														無回答
		温泉やお風呂	名所・街並みの観光	旬や地元の物をおいしく食べる	紅葉や花など自然観賞	ゆっくりする・お土産	神社・仏閣・城の観光	テーマパーク・遊園地・水族館・動物園	美術館・博物館	祭りやイベントへの参加・見学	世界遺産を訪ねる	登山・スキー・ゴルフ・その他スポーツ	湯治・療養目的	海水浴・釣り	マッサージやエステ	
2011年	842	64.3	53.3	49.4	37.1	46.3	22.9	24.2	19.2	15.0	12.4	7.5	2.9	4.9	7.2	1.0
2012年	856	66.2	61.4	50.9	39.4	43.7	27.2	27.6	19.6	16.9	11.8	7.7	4.3	4.1	8.5	0.8
2013年	874	69.6	56.5	50.8	40.3	44.7	30.4	26.0	18.8	17.6	13.0	8.7	4.1	3.0	7.4	0.6
2014年	847	65.4	51.1	48.4	41.2	44.5	30.6	23.8	18.8	20.4	13.6	9.3	3.0	2.4	6.3	1.1
2015年	877	63.2	55.4	49.7	39.8	42.1	33.9	25.9	17.9	18.2	14.9	7.6	5.2	3.0	5.4	0.6
【2015年(50~60代)】																
性・年代別		217	62.2	43.8	45.2	25.3	29.5	25.8	12.9	22.1	13.4	10.1	4.6	5.1	10.6	0.5
男性50代		212	68.9	61.8	50.0	42.5	34.0	38.2	17.0	18.9	14.6	15.6	6.1	2.4	5.7	0.5
男性60代		226	55.8	54.0	50.9	42.5	45.6	30.1	15.0	14.2	15.0	5.8	2.7	3.5	13.3	—
女性50代		222	66.2	62.2	52.7	48.6	58.6	41.4	23.9	18.0	16.7	4.5	7.7	3.6	5.4	1.4

### 調査結果ダイジェスト

旅行回数・宿泊日数増加。消費増税による落ち込みから回復傾向。年間旅行回数は2.78回で対前年0.24回増、総宿泊日数は4.39泊で同0.67泊増。2014年の消費増税による旅行控

一泊あたりの宿泊費、4年連続上昇。宿泊施設の稼働率上昇による宿泊料金の高騰が影響か。一泊あたりの宿泊費(平均)は、1万2081円で対前年1.4%増。4年連続上昇。消費増税に加え、訪日外国人増加による宿泊施設の稼働率上昇によって、宿泊料金が高騰しているとの影響とみられる。

宿泊にはお金をかけず、観光に重きを置いた旅行が増加傾向。直近3回での旅行で利用した宿泊施設では、「旅館」が2年連続で減少。また「旅行の目的」では、「温泉やお風呂」が2年連続で減少した。一方「名所・街並みの観光」「神社・仏閣・城の観光」「旬や地元の物をおいしく食べる」が増加している。宿泊先にはお金をかけず、観光に重きを置いた旅行が増加傾向にある。

えから、回復の兆しが見られる。